講義名	社会構造論					授業形態	
担当教員	桑原　桃音	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	S0C285

主題と概要

本講義では、まず、社会構造論とは何かを概観し、社会構造をとらえるために社会変動、とくに戦後日本の社会変動、社会階層について社会学的な視点から理解する。社会階層と格差の問題について学んだのち、格差を構造化するもの、格差とそれを是正する制度や政策と、是正の可能性について理解する。

つぎに、社会構造論にとって重要な社会学者の理論を学修する。とくに、構造論、相互作用論を学び、現代社会をとらえる社会学理論を学修する。

さいごに、現代社会において社会構造がゆらぎ、問い直される場面について理解しながら、21世紀社会において個人が生きやすい社会になるためにどのような社会変革が必要になるのかを検討し、考察する。

この授業では、授業の理解のためにレジュメだけでなく、補足資料、パワーポイント、ワークシートを用いて講義を行う。理解を深めるために、資料の分析、要約と意見の提示、映像資料の視聴、グループワークを行う。

到達目標

(1)社会構造論と社会階層論の基礎的な考え方、概要について理解し、説明することができる。

(2)社会変動と社会階層の変化の関連について理解し、説明することができる。社会的格差の内容を知り、その格差を構造化するものと、その問題点と対策について理解し、説明することができる。

(3)社会構造に関連する社会学理論について理解し、それらの理論を事例をあてはめながら説明することができる。

(4)上記の能力を用いて、現代社会において社会構造を問い直すような具体例を用いながら、社会構造の問題、社会的格差の問題を検討し、個人の生きやすさと社会構造のあり方について考察することができる。

提出課題

・毎回授業時に作成したワークシート、クリッカー（学習支援システム．(Learning Management System: LMS)のクリッカー機能）による課題・小テストを提出してもらう。
・毎回の課題は800字程度の字数を要する場合がある。
※クリッカーは授業内で情報共有するので個人情報が露呈しない内容にとどめること。
・グループディスカッションを行うこともあるが、内容によってはICT等を活用した双方向ディスカッションなどを課す。たとえば、他の受講生のクリッカー内容を共有し、それらの内容について議論につなげるなど
。
・不定期に特別課題、小テストを課す。また学びを深め、評価を上げたい学生のために発展課題を課す。

・授業中半で、中間テストを課す（授業の進度や受講生の様子を見て中間レポートに切り替える場合もある）。中間テストの未受験によって点数が下がり、単位が認定されない場合があるので注意すること
。

・最終テストの内容については講義時に詳細を説明する。ポータルの説明内容だけでは解けないので注意すること。また、最終試験を受験しない場合は授業を「放棄」したとみなし、単位を認定しない。履修要項などの試験についての注意事項をしっかりと読んで臨むこと。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業課題の講評、質問については、次回もしくは次々回の授業時に学生へ伝える。

評価の基準

・平常点50%（講義内の課題、不定期に実施する小テスト）
・テスト・試験50%（中間テスト15%、最終テスト35%）

※20分以上の遅刻は欠席扱い。
※居眠り、私語、指示のないスマートフォン等の電子機器の利用はいずれも欠席扱い。
※欠席が5回以上になったら単位不認定とする。同様に毎回の課題の未提出が5回以上になった場合も単位不認定となる。
※次の行為は判明した時点で単位不認定。
①課題やレポート内容にインターネットからの盗作・剽窃があった場合。
②他学生の課題、クリッカー、レポートをコピーして提出した場合（この場合はコピーしたもの/させたものどちらも不認定）。
①、②ともに部分的な盗作、剽窃、他学生の課題内容のコピー＆ペーストでも単位不認定。

履修にあたっての注意・助言他

・毎回の課題に頑張って取り組むこと。

・課題の提出、クリッカーの入力を積極的に行うことが評価につながる。課題の未提出が評価にひびくので注意すること。

・文字数が少ない、授業内容をまったく理解できていない、あきらかに指示した資料を確認していない、いい加減な課題は0点

・何らかの理由で提出ができない場合は、信ぴょう性書類を用意して必ず締め切り前に教員に連絡をすること。連絡がない場合は受け取らない。

・教室内で他の学生が学習する機会、権利を侵害する行為（私語・携帯電話やスマホの使用・授業途中の入退出など）をする者はその日は欠席扱いとし、退出を指示することがある。

・各課題、各レポートで盗作・剽窃したものは、それまでの課題点がどれだけよくても、発覚した時点で単位不認定とする。

教科書

参考図書

.社会学のエッセンス 新版補訂版-- 世の中のしくみを見ぬく.	友枝敏雄ほか著	有斐閣	2200	9784641220980
.社会学で描く現代社会のスケッチ.	友枝敏雄ほか編	みらい	2420	9784860154851
.歴史と理論からの社会学入門.	木村至聖	ナカニシヤ出版	2600	9784779516344

その他

・講義時に資料とレジュメを配布する、教育支援システムLMSを介して配布することもある。
・参考文献は適宜指示する。インターネット上のサイトなども利用する。

授業計画

第1回　　オリエンテーション＆序章：自由に生きるために
　予習内容：シラバスをよく読み特に興味を持った授業回の内容に関する新聞記事、Webマガジン、ニュース動画、論文等を一つみつけて確認してくること（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第2回　社会構造を問いなおす（1）：社会階層と格差を学ぶ意義：子どもの貧困
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第3回　社会階層（1）　不平等と正義：格差の拡大、それとも縮小
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第4回　社会階層（2）　社会階層と社会移動
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第5回　社会階層論まとめ＆行為論（1）：社会は行為でできている
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第6回　構造論（1）：社会をモノとしてみる
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第7回　：前半まとめ＆フィードバック
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第8回　中間テスト
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第9回　構造論（2）：構造と機能というアイディア＆相互作用論（2）：意味をめぐる相互作用としての社会
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第10回　構造論（3）：私たちが生きる近代とは
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第11回　相互作用論（3）：プロセスを捉える様々な枠組み
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第12回　社会学理論の展開（1）複雑な社会をどう捉えるか
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第13回　社会学理論の展開（2）複雑な社会をどう生きるか
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第14回　終章：複雑な社会を、複雑なまま＆フィードバック
　予習内容：講義資料をみながら、わからない言葉を調べ、興味を持った内容、考えたことをノートにまとめてくる（2時間）。
　復習内容：出題された課題を解き、講義資料を見たうえでノートを整理し、考えたことをまとめること（2時間）。
――――――――――――――――
第15回　　まとめ、後半のフィードバック

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

(1) この科目は、社会構造論、社会変動、とくに産業、地域、家族の変化、社会階層、社会的格差について知ることで、また、社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働きに関わる専門的な知識を知ることで、社会の仕組みや働き、さまざまなことがらの社会における役割や意義を理解する。

(2) これらの理解を通して、現代社会において個人が生きやすい社会になるために、社会構造上の問題の解決のために必要なことは何かを考える能力を培うことができる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

小テスト、提出された課題やクリッカーの内容について授業内で講評や解説を行う。

LMSやクリッカーを用いて授業内で意見を提示してもらい、それらについては次回以降にコメントや解説をする。

受講生の知見や考えを深めるために動画やインターネットを用いる。

実務経験の有無及び活用

備考

やむを得ない欠席の場合の対応について。必ず教務部指定の欠席届と信ぴょう性書類も提出すること。教員から指示があれば指定された締め切りまでに課題を提出すること。